



平成21年度「少年の主張」檜山支庁地区大会

6月23日（火）今金町町民センターにおいて、「少年の主張」檜山支庁地区大会が開催されました。

せたな町からは3名の中学生代表が出場し、瀬棚中学校2年 國井千瑛里さんが最優秀賞を受賞しました。

なお、瀬棚中学校 國井千瑛里さんは、9月4日開催の「少年の主張全道大会」に出場する予定です

【せたな町からの出場者】

最優秀賞	瀬棚中学校2年	國井千瑛里	さん	「題名：言葉」（写真左）
優秀賞	大成中学校3年	酒井 翔也	君	「題名：目標の大切さ」（写真中央）
優秀賞	北檜山中学校3年	惣藏 玲奈	さん	「題名：言葉の重さ」（写真右）



大成区民グラウンドゴルフ大会

6月20日、平田内小学校グラウンドを会場に、大成区民グラウンドゴルフ大会が開催され、子どもから大人まで35名が参加。教委職員も加わって順位を競いました。

コースは、グラウンド内に8ホール設置し、1ゲーム8ホールの2ゲームの合計打数によって順位を競いました。

途中パラパラと雨が落ちてきたりする場面もありましたが、子ども達は、大人顔負けの好プレーを続出、夫婦で参加した男澤さんは、共にホールインワンを出すなど、レベルの高い大会となりました。結果は、1位 男澤幸一さん、2位 桜井妙子さん・杉村 彰さんの順位となり、小学生も多数入賞し健闘しました。

プリズム

八月十四日（金）に本町の成人式が挙行されます。

合併後、夏に実施されるようになつて四回目を迎え、今年は八十名程の該当者のうち七十数名の新成人、町外に居住する人も盆休みでの帰省や竹馬の友との旧交を温める機会として故郷での成人式に多くが参列します。

都市部での参加率が60%台に比して、毎年ほとんどの新成人が参加し、人生の節目としてこの慶事を家族や地域挙げて祝すことは大変喜ばしいことであります。

しかし、「ついでにいな」とか大変な時代に大人になつてしまつた」という思いを抱く新成人も多いのではないだろうか。昭和から平成にかけて生まれた世代、物心がついた頃はバブルがはじけ、右肩上がりの時代を知らない世代である。特に、昨年津波のような経済危機に見舞われ、雇用の悪化や格差の増大をはじめ年金など将来への不安が募るばかりと思われま

す。ともあれ、嘆いてばかりではいられません。一筋縄ではいかない世の中だからこそ、逃げ出さずに現実と向き合つて生きていかなければなりません。今の時代をつくつた大人の責任はありますが、若者の新しい考えや価値観、これまでのやり方にとらわれない自由な発想で世の中を変えていくことが求められています。

成人となつて参政権を得る今、チャンスでもあります。近々には衆議院議員選挙が予定され、メディアの喧騒に目を奪われることなく、傍観者としてではなく若者の声を国政に届け、これからの日本を象徴していく主役となることを期待したい。



せたなっ子健全育成事業

「プールでOPヨット体験」



6月20日（土）、B&G海洋センタープールで「プールでOPヨット体験」が行なわれました。

この体験会は、ヨットの乗船経験がない小学生を対象にして、自然（風）の力を利用して行なうセーリングを体験してもらおうと行なわれました。

当日は、小学生7名が参加し、最初は緊張した感じで始まった体験会でしたが、終わる頃にはみんな上達してうまく乗れるようになりました。

「マリンスポーツ体験」



6月27日（土）、B&G海洋センター艇庫で「マリンスポーツ体験」が行われました。

当日は、天気にも恵まれ小学生35名が参加して、カヌー（1人乗り）とローボート（4人乗り）に挑戦しました。最後には、おまけでマリッジットにも乗せてもらい、半日でしたがみんな笑顔でマリンスポーツを楽しみました。

せたな町高齢者大学移動講座

「大成くおん大学」

6月11日、学習活動や体験活動を通し、お互いが学びあう機会として、函館市内の施設を見学しました。当日は、13名のくおん学生が参加し、函館少年刑務所・北海道新聞函館支社を見学しました。少年刑務所では、受刑者が溶接や木工・洋裁など実際に作業を行っている姿や入浴場などの施設を見学、北海道新聞函館支社では、記事作成から刷版・印刷と新聞が完成するまでの過程を学び、実際の作業現場を見学。参加した学生からは、「高齢者大学に入ってよかった。普段行く機会のない施設で、見たり聞いたりすることができ、貴重な体験ができた」などの感想がでていました。



「北檜山いきがい学園」

町外に足を運び、様々な施設や史跡などを見学し、視野を広げる学習体験の機会として好評な本事業も9回目を数え、本年は「北限ブナの里・黒松内町探訪」に55名の学園生が参加し、7月2日に実施されました。ブナセンターでは学芸員の案内で黒松内の自然・歴史を学び、チーズやハムを加工販売するトワヴェールに続き、介護老人保健施設湯の里：黒松内（社会福祉法人つくし園）では、平成17年新装された立派な施設内を職員スタッフから懇切に案内され、リハビリや介護サービスの実際を目の当たりにすることができました。午後からは、パークゴルフと温泉入浴に分かれ、健康と福祉の町黒松内を体感した一日となりました。

